

平成 25 年度 江南区福祉の学び舎事業

第 21 回企画運営委員会（14.3.18）のまとめ

第 21 回企画運営委員会は 3 月 18 日（火）に江南区役所多目的ホールで開催されました。

今回は、平成 25 年度に行ってきた 3 つのプロジェクトの実施報告を行った後、平成 26 年度事業の内容について、事務局の提案をもとに 2 つのグループに分かれて検討を行いました。話し合いの内容は以下のとおりです。配付資料とあわせてご覧ください。

平成 25 年度事業の実施報告

【第8回福祉のネットワークづくり交流会（2/4開催）】

参加者は53名で、マップづくりのシミュレーションゲームなど好評でした。

【学生ボランティアマッチング・プロジェクト】

学生ボランティア活用ヒント集が完成しました。

【ささえあいマップづくり】

マップづくりのガイドブックは現在印刷中です。第1弾が20日（木）に完成します。

学生ボランティアマッチング・プロジェクトとマップづくりは昨年から2ヶ年継続のプロジェクトであったため、まとめる形にしました。

【事業全体の報告書】

現在印刷中ですので、完成次第お送りします。

平成 26 年度事業の内容について

「福祉の学び舎事業」は平成26年度で6年目となり、一区切りします。前回の会議で委員のみなさまより提案をあげていただきましたが、区切りとなることや「地域福祉の観点で何をやるか？」という基準で平成26年度の事業内容の提案をしました。

〈提案と理由〉 地域福祉を「食」から考える

- ・以前作成した「配食サービスガイドブック」は現状に合わせた更新が必要。
- ・福祉におけるさまざまなテーマに対し「食」は横断的に対応できそうだ。

この提案をもとに2つのグループで話し合った内容は以下のとおりです。

○配食サービスガイドブックのリニューアルはやろう。

- ・特記事項欄にけっこう大切なことが書いてある。
- ・条件が変わっているので更新は必要。
- ・配食サービスの利用状況の把握を同時に行ってはどうか。
- ・リニューアルにあたっては、試食会をぜひ行いたい。
- ・業者との意見交換も行い、現場のニーズを伝えよう。

○高齢者や子育てをテーマにするのは難しいだろう。

○口腔保健の勉強会は包括支援センターでも実施している。

○勉強会は専門的になりすぎないか？

○勉強会は公民館でやっていることと重なりそう。

○単なる勉強会ではなく、「一緒に何かやる」など仲間づくりができるようなプログラムとしてネットワークづくりの要素を入れる（例：子育てママ対象など）。

○勉強会は少人数でもやるべき。

○人に集まってもらうのではなく、人が集まる場所に出向いて勉強会を行う（出張バージョン）。

○いろいろなところを巡回してプログラムを提供してはどうか。

- ・これまで作成した冊子類を活用することも考えられる。
- ・企画運営委員の中でもさまざまなプログラム（一芸）を提供できる人が多いので、それぞれの得意分野を活かすのもいい。

話し合いの結果を受けて平成26年度は「配食サービスガイドブックのリニューアル」「さまざまな人材を登用した各種テーマの勉強会を区内各所で行う」としました。2つのプロジェクトの詳細については、平成26年度に入ってからご報告します。

以上です。平成25年度の企画運営委員会は今回が最終回でした。平成26年度も引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。